

## 平成28年度第1回 基幹相談支援センター運営委員会 概要

日 時：平成28年5月18日（水）、10:00～12:00

場 所：札幌市役所 本庁舎3階 保健福祉局会議室

出席者：9名 運営委員：永井委員、石原委員

（事務局：障がい福祉課2名、ワン・オール5名）

### 次第

- 1 平成27年度事業実績の報告および審議（平成27年度事業実績）
- 2 平成28年度事業実績の説明及び審議（平成28年度事業計画）
- 3 ワン・オールの中立性、運営に関する各委員からの意見

### 扱われた内容（事業計画・事業報告に準じて報告）

個別相談件数の変動について→未登録者からの相談や道外からの転入ケースが多い原因や機関との連携状況  
精神障がい者地域移行支援事業ピアサポーター活用業務の進捗状況→市内精神科訪問の結果と現状、今後の取り組みについて

札幌市自立支援協議会に関するワン・オールとしての業務

地域支援体制の構築に係る取り組み状況

道内外の関係事業の視察や研修会実施について

計画相談支援の推進→計画相談に係るQ & A等の作成について

ピアサポーター養成への取り組みについての課題

地域支援体制の構築→新規委託業務「誰もが住みやすいあしんのまちコーディネーター業務」への取り組み  
等

### いただいたご質問・ご助言

・個別ケースを通した関係機関や相談機関との関わりについて

→ワン・オールが周知されたことにより、利用方法への混乱が生じる場合もあるが、整理をしながら関係機関とも連携を  
できるよう体制作りをしている

・ピアサポーター活用業務への関心度について

→市内精神科病院への啓発等について課題がある。

・司法が関わる個別相談への取り組み状況について

→個別には整理されつつあるが、知識学習等を通じて連携強化の体制作りを継続している。

・道内外の視察内容について

→地域ごとの違いや役割等について参考になる地域を選定予定。

・ピアサポーター養成については、以前から活動してきた人や当事者の意見も踏まえて考えていく必要がある。

・各地域部会の資料化については、地域性も違うため開催頻度や設置内容等の違いが良い悪いとならないよう  
見せ方に工夫が必要であるのではないかと。

等